

# 教育祭

第87回

2022年  
10月30日(日) 10時～  
大阪城公園教育塔前

<sup>がっ そ</sup>  
新たな教育塔合葬者をご存知でしたら  
お知らせください。

合葬の対象となるのは、乳幼児、児童、生徒、学生、教職員、保護者、校医等で、通学・通勤途上、教育活動中、行事等で死亡された方、もしくは、これらが原因で死亡された方、人命救助や不慮の災害などで亡くなられた方です(宗教・国籍は問いません)。

詳しい手続きにつきましては、各県の教職員組合もしくは下記までお問い合わせください。

【日本教職員組合総務部】TEL.03・3265・2171 7月29日(金) 締切

教育塔の保存と  
教育祭の充実のために  
「教育塔維持基金」へ  
のご協力をお願いします。

教育塔に関するホームページを開設しています。  
教育塔の由来、教育祭のあゆみ、年表等  
詳しく載っています。ぜひご覧ください。  
<http://www.kyouikutou-jtu.jp>



主催:日本教職員組合

協賛:教職員共済生活協同組合・日本教育会館

## 教育塔の由来

1934年9月21日、室戸台風が関西地方を襲いました。秒速60mという強風及び大高潮はあらゆる方面で大惨事を及ぼしました。学校においては始業の前後でもあり多数の木造校舎が倒壊し、教職員25人をはじめ600人を超す子どもたちが亡くなるなどの甚大な被害がありました。災害直後、大阪の教育界は二度とこのような惨事が起こらないことを願って、子ども、教職員を追悼し、その名を永くとどめるため、記念碑の建設を発議し、帝国教

育会が臨時総会において記念塔を建設することを決定しました。全国の教育関係者はこの呼びかけにこたえ、児童、生徒、教職員、一般有志の方から32万円を超える寄付が寄せられ、大阪城公園に教育塔ができました。

塔の建築には教育塔建設費に17万5千円、式典費、準備費等で合計32万円ほどかかりました。公募により、塔の設計は島川精さん、塔正面のレリーフは長谷川義起さんが選ばれました。

## 塔の維持管理および教育祭の運営

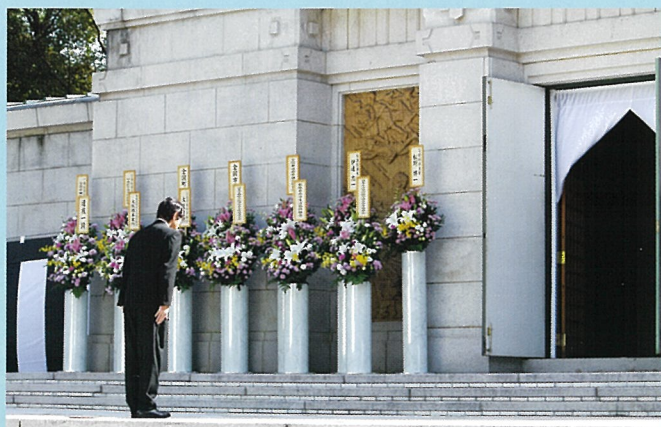
塔の管理及び教育祭の執行は、帝国教育会(後に日本教育会に改組)により行われていましたが、1948年日本教育会の解散にともない、日本教職員組合が受け継ぐことになりました。戦後の長い年月の中で塔内外とも破損がすすみ、日本教職員組合は塔の再建費用を全組合員に募りました。基金は2千万円を目標にしましたが、最終的に1億5千万円が集められました。

さらに第60回教育祭を前に日本教職員組合は、約2千万円をかけて教育塔の外観や内部の大補修を行うとともに、説明板を作り直しました。新しい説明板には戦後の憲法・'47教育基本法の理念に立って教育塔・祭を運営していることや、阪神・淡路大震災の犠牲者の追悼、戦後五十年を機に恒久平和を願い執行されていることを記しています。

## 教育塔のすがた

教育塔は大阪府中央区馬場町大阪城公園、大手前広場東南地区に建っています。面積は333平方メートルで、塔は鉄筋コンクリートを芯に、外側にはイタリアから取り寄せた白色の花崗岩を貼ってあります。塔の正面レリーフには災害時の情景と講堂での訓書清読の場面が描かれています。塔の下の中央に

は162平方メートルの芳名室があります。芳名室の中央には「やすらかに」と書かれた石碑が建っています。両側にはそれぞれ86平方メートルの芳名室があります。芳名室には合葬された方々の名前が書かれました。芳名板が納められ、現在合葬された方は、約2万8千人におよびます。



## 教育塔に合葬される方

学校等の教育時間中・活動中(通学途中含む)に亡くなられた方、人命救助や不慮の災害によって亡くなられた方等(宗教・国籍を問わず。一年以上さかのぼっても可)を合葬しています。

なお、審査は本人のご遺族、学校などから申請をいただき、日本教職員組合に設置された審査委員会により慎重な審査の上、決定されます。

新たに合葬される対象者をご存知でしたら、お知らせください。



### 教育塔に合葬される方の対象者

#### 乳幼児、児童、生徒、学生、教職員、保護者、校医、教育関係者等で死亡された方

##### ①乳幼児、児童、生徒、学生、教職員の場合

- 一、学校等の教育活動中に不慮の事故・災害によって死亡した者。またはこれらに準ずる者。
- 二、学校等の教育活動が原因と思われることで死亡した者。またはこれらに準ずる者。
- 三、人命救助などの行為によって死亡した者。

##### ②保護者、医療関係者、教育関係者などの場合

- 一、学校及び教育機関の行事等に参加中死亡した者。またはこれに準ずる者。
- 二、学校及び教育機関の行事等に参加したことが原因または原因と思われることで死亡した者。またはこれらに準ずる者。
- 三、教職員の生活と権利、福利厚生に関する業務中に死亡した者。またはこれらに準ずる者。
- 四、退職後、引続き教育に関する活動を担っていて死亡した者。

##### ③特別合葬

天災地変など不慮の災害により、一時に多数の乳幼児、児童、生徒、学生、教職員、保護者、校医、教育関係者が死亡した場合、一括して特別に合葬する。



# 教育祭に寄せて



教育祭主催者  
日本教職員組合中央執行委員長  
瀧本 司

教育祭は、1934年9月、関西地方を襲った室戸台風により、多くの児童・生徒・教職員の尊い命が奪われたことを追悼するため、大阪の教育界を中心に、全国の教職員・教育関係者の努力によって1936年に始められた、現在は無宗教の教育的行事です。第1回教育祭より86年、私たちは、二度と不幸な出来事が起こらないよう、1年も欠かさず教育祭を執り行ってまいりました。

「東日本大震災」から11年、「熊本地震」から6年が経過しました。依然として多くの被災者が避難生活を続けており、復興への道のりは未だ半ばです。また、近年は台風や豪雨などの自然災害が多発し、各地に甚大な被害をもたらしました。過去の出来事として風化させることなく、亡くなられた方々に寄り添い、記憶をつなげることで、今後の私たちのとりくみにいかしていかなければなりません。

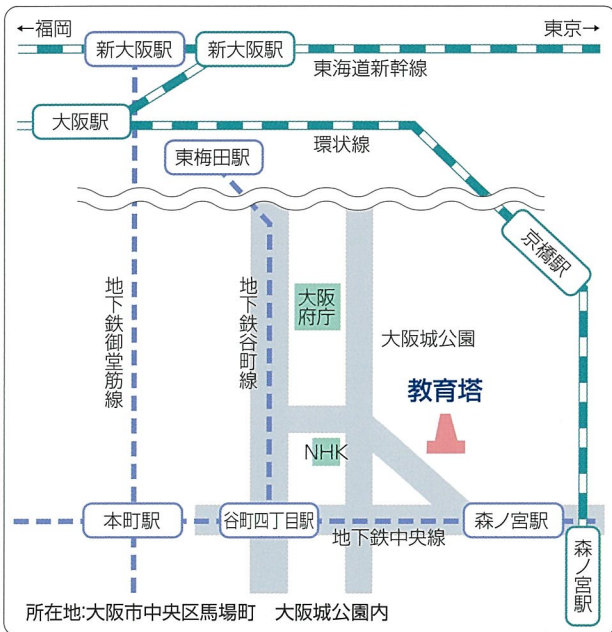
学校では働き方改革が叫ばれていますが、超過勤務による過労死や病気、事故などで生命を絶たれてしまう、

自ら命を絶ってしまうということが現実として起こっています。子どもが学校・地域・家庭に自分の「居場所」を見つけることができず、未来が閉ざされてしまう出来事も起こっています。また、学業半ばに病などで生命を絶たれてしまう子どもがいます。

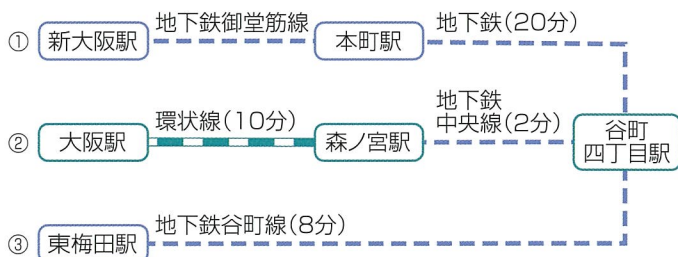
私たちは失われた生命を悼み、受け止める中で、教育という営みを通じて、過去に学び、現在にいかし、未来へつなげることをすすめてきました。子どもたちの「居場所」づくりを大切にするとともに、子ども、教職員、教育関係者すべての生命を守る学校・地域・家庭づくりが求められています。そのためにも、社会全体が協力し、助け合うことで共生社会の実現にむけ全力でとりくんでいくことが必要です。

教育祭は、過去の不幸な出来事から学び、再び災禍が繰り返されないよう誓いを新たに、未来へむけて歩みをすすめる節目の場です。関係者のご理解とご協力をいただければ主催者として大きな喜びです。

## 教育塔へのご案内



## 交通のご案内



■教育祭開催日(10月の最終日曜日)

**2022年10月30日(日)**

■お問い合わせ先

日本教職員組合総務部

TEL:03-3265-2171 FAX:03-3230-0172

■ホームページ

教育塔の由来、教育祭のあゆみ、年表等を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.kyouikutou-jtu.jp>

教育祭には、毎年以下の方々をはじめ、教育関係者から献花をいただいています。

内閣総理大臣／文部科学大臣／衆議院議長／参議院議長／全国知事会／全国都道府県議会議長会  
 全国都道府県教育委員会連合会／各都道府県教育委員会／全国市長会／全国市議会議長会  
 全国町村会／全国町村議会議長会／公益社団法人日本PTA全国協議会／日本労働組合総連合会  
 全国労働金庫協会／連合大阪他地元関係団体／全国労働者共済生活協同組合連合会  
 日本生活協同組合連合会学協支所／公立学校共済組合／教職員共済生活協同組合／日本教育会館  
 遺族一同